梅雨時期の長雨と集中豪雨に注意！

人命や大切な財産を一瞬にして奪い去ってしまう土砂災害の多くは、長雨や大雨がきっかけとなって起こります。長雨や大雨のときには、気象情報や町が発令する避難情報に耳を傾け、早めに避難しましょう。また、家の周りの水路を清掃し、水を溜めないようにしましょう。災害発生のおそれがあるときなど、避難が必要な場合は、防災行政無線等でお知らせします。

問 総務課　防災係 ☎ 92-7915

雨量の目安と雨の強さ

1時間の雨量	降り方	災害発生状況
10～20mm	やや強い雨（ザーザーと降る）	雨音で話し声がよく聞こえない。長く続くときは注意が必要。
20～30mm	強い雨（どしゃ降り）	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。
30～50mm	激しい雨（バケツをひっくり返したように降る）	山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなる。
50～80mm	非常に激しい雨（滝のように降る）	マンホールから水が噴出。土石流が起こりやすい。
80mm以上	猛烈な雨（息苦しくなるような圧迫感がある）	大規模な災害が発生するおそれがある。厳重な警戒が必要。

※雨量とは、降った雨が地面に染み込んだり、流れ去ったり、蒸発したりせず、そのままその場所に溜まったときの水の深さをミリメートル（mm）単位で測定した量を表すものです。

土砂災害の前触れ

土石流

- 川の水が急に濁ったり、流れに流木が混ざったりしてくる。
- 雨が降り続いているのに、川の水かさが減り始める。
- ゴロゴロと川底で石の流れる音がする。
- 山全体がうなるような音がする。（山鳴り）

地すべり

- 地面にひび割れができる。
- 地面の一部が落ち込んだり、盛り上がったりし始める。
- 池や沼の水かさが急に変わる。
- 井戸の水が濁る。

がけ崩れ

- がけから小石などがパラパラと落ちてくる。
- 斜面の途中から濁った水が湧き出す。
- 普段聞き慣れない音が斜面から聞こえる。

サイレン吹鳴について

緊急時のサイレン吹鳴は、町民の生命財産を守ることに大きく関わっています。火災発生時のサイレンは、町民に注意を喚起するとともに、消防職員や消防団員を招集するために吹鳴します。また、災害発生時には避難指示の伝達手段として吹鳴します。サイレン吹鳴時には大きな音が鳴りますが、ご理解をお願いします。

サイレンの種類		サイレンの吹鳴パターン
災害	避難を要すると判断されるとき（避難指示信号）	サイレン1分吹鳴 → 5秒休止 → サイレン1分吹鳴 → 5秒休止
火災	発生時（火災信号）	サイレン5秒吹鳴 → 6秒休止 → サイレン5秒吹鳴 → 6秒休止 → サイレン5秒吹鳴 → 6秒休止 → サイレン5秒吹鳴 → 6秒休止 → サイレン5秒吹鳴 → 6秒休止
	鎮火時	サイレン30秒吹鳴
防火啓発	毎月15日の防災の日 ・秋の全国火災予防週間（11月9日・15日） ・年末特別警戒期間（12月28日） ・春の全国火災予防週間（3月1日・7日）	午後8時にサイレンが30秒吹鳴します

「防災ネットあんあん」配信中！

「防災ネットあんあん」は、佐賀県が運用する、各種防災・防犯情報配信アプリです。

▽配信情報

・防災情報

…気象情報、警報（特別警報）、台風情報、河川情報など

・防犯情報

・緊急情報

・火災情報　など

▽配信情報の対象地域

県内全域（全市町一括または市町単位で選択が可能）

▽利用方法

・インターネットで「防災ネットあんあん」と検索

・下の二次元コードからアプリをインストール

App Store から
ダウンロード

Google Play から
ダウンロード

防災行政無線の放送内容を電話で確認できます

町では、災害情報等の伝達手段として、町内に防災行政無線放送システムを導入しています。

防災行政無線による放送は、雨や風の状況、各戸の立地状況等により、内容が聞き取りづらいことがあります。そのような時は、次の番号に電話することで、町が防災行政無線で放送した内容を確認することができます。ぜひご利用ください。

防災行政無線 確認サービス

☎ 050-5306-2682

（通話料がかかります）

（注意事項）

・放送直後は、電話回線が込み合ってつながらない場合がありますので、つながらない場合は、しばらくたってからおかけ直しください。

・放送内容の保存期間は、24 時間です。24 時間が経過すると放送内容は、自動で削除されます。また、24 時間以内に複数回放送した内容は、最新の情報だけをお知らせいたします。

避難警戒レベルと、とるべき行動

	警戒レベル	発令される避難情報等	とるべき行動
町が発令	レベル5	緊急安全確保	命の危険！直ちに安全確保！ 安全な避難が難しい状況、自宅の上の階や、崖から離れた部屋に移動するなど、少しでも身の安全を確保する行動
町が発令	レベル4	避難指示	危険な場所から全員避難 対象地域の方が全員速やかに危険な場所から避難する行動
町が発令	レベル3	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 避難に時間がかかる高齢者や障がいのある人などが危険な場所から安全な場所へ避難する行動
気象庁が発表	レベル2	注意報	自らの避難行動を確認 ハザードマップで災害の危険性のある区域や避難する場所、避難経路、避難のタイミングを再確認する行動
気象庁が発表	レベル1	早期注意情報	災害への心構えを高める 災害発生の危険性はまだ低い段階ですが、気象庁から発表される最新の防災気象情報などに留意する行動

災害時の避難所一覧

危険を感じたらすぐに避難しましょう
局地的集中豪雨のような、突発的な異常気象の場合には、役場からの避難情報が間に合わないケースがあります。その際には、身の危険を感じたら安全な場所にいる家族や知人の家、または町が開設する避難所等へ自主的に避難しましょう。

避難所

町では、台風や地震等の災害が発生した場合または発生のおそれがあると判断した場合、町民の皆さんに対し高齢者等避難や避難指示等を発令し、安全な場所への移動を呼びかけます。
この際、多数の避難者が予想されるため、次の施設を避難所として指定しています。

指定避難所（兼指定緊急避難場所）

施設名	住所	電話番号
町民会館	宮浦 666	92-1211
総合体育館（武道場を含む）		92-2822
福 保健センター		92-2045
基山中学校	宮浦 941	92-2203
基山小学校	宮浦 41	92-2431
福 若基小学校	けやき台 2-2	92-0410
福 多世代交流センター憩の家	宮浦 1026-1	92-8295
福 基山っ子みらい館	宮浦 759-1	92-2305
基山町合宿所	宮浦 695-6	85-9512

指定緊急避難場所

施設名	住所	電話番号
2区公民館	園部 2339-1	なし
7区公民館	長野 570-8	なし

指定緊急避難場所…災害から命を守るための緊急的な避難に特化した場所です。

福…福祉避難所。要配慮者が安心して過ごせる避難所です。

いざというときの心構え

恐ろしい災害から身を守るには、日頃からの備えが重要！早めに確認しましょう！

避難所を確認！

災害が起こったとき、家族全員が一緒にいるとは限りません。
あらかじめ避難所や避難する道順を決めておきましょう。

土石流に注意！

土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げると追い付かれてしまいます。
土砂の流れる方向に対して直角に逃げるのがポイントです！

雨に注意！

1時間に20mm以上、または降り始めてから100mm以上の雨量になったら要注意！テレビやラジオでこまめに情報収集しましょう。

使おう！キキクル

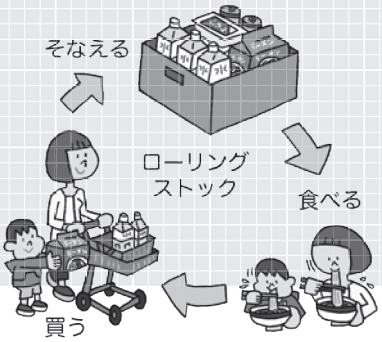
キキクル（危険度分布）は、大雨災害の危険度を地図上に色分けして、リアルタイムに表示するもので災害から命を守るための防災情報です。

佐賀地方気象台では、キキクルの使い方を分かりやすく紹介する動画を製作しました。防災情報の収集にぜひご活用ください。

食料・飲料などの備蓄、十分ですか？

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備え、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。

防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ、普段の生活の中で利用されている食品等を備えるようにしましょう。



食料・飲料・生活必需品の例（人数分用意しましょう）

・飲料水　３日分（1 人 1 日 3 リットルが目安）
・非常食　３日分の食料（ご飯、ビスケット、板チョコ、乾パンなど）
・その他　トイレットペーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロなど

※大規模災害発生時には、「1 週間分」の備蓄が望ましいとされています。
※飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要です。
　日頃から、水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつでも張っておく、などの備えをしておきましょう。

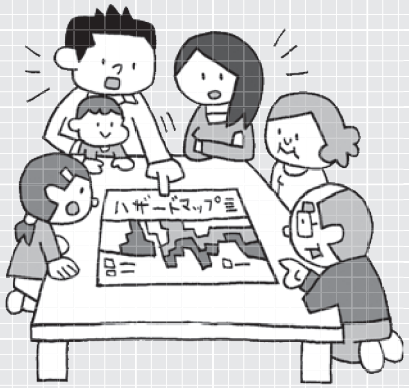
災害関連お役立ちサイト

災害対策等に関係する情報は以下のサイトなどからご確認いただけますので、ご参考にしてください。

内閣府防災情報

TEAM防災ジャパン

政府広報オンライン

防災ポータル

防災・危機管理ｅカレッジ